

「大丈夫…、ママはここにいまちゅよ♡
よしよし…♡」

（太一もしかして母ちゃんがいなくて寂しいのかな…？
俺も父ちゃんがいらないのが寂しい時があるし、
今は俺がママになってあげなきゃ…！）

「うう…ママあ…♡」

（精神年齢だと俺の方が十歳上なのに…
何故か甘えちゃう…ずっとおっぱい吸って撫でられてたい…）

ちゅばちゅば…♡

「ママのおっぱいは太一ちゃん
だけのものでちゅよ…♡
安心して吸いまちようね…♡」



「お兄ちゃん、ちんちん出して…♡
今日もあたしがおっぱいで精子抜き抜きしてあげる…♡」

「ああ、頼むよ夏姫…！」
(やり始めるとノリノリなんだよな)

妹な夏姫が胸を寄せ上げ谷間を強調する

ぐにゅ…♡

「ふふ…♡、妹のおっぱいで凄い興奮してるんだね
お兄ちゃんのカチコチだよ…♡」



「もう太一は困った子だなあ…
こんなエッチな事をお姉ちゃんにさせて…!」

「うう…、

お姉ちゃんにちんちん気持ち良くしてもらわないと
寝れないんだもん…!」

俺は甘えん坊な弟になりきって
姉のおまんこをねだる

「まったく…

本当は姉弟ではこんな事しちゃいけないんだよ?」

「やだあ…!、

夏姫姉ちゃんに種付けしたい!」

「今日だけ、今日だけだからね…?」

「明日からは自分でオナニーするんだよ?」

ずぶぶ…!♡

